第三学年　学習プリント⑤
月の起源を探る⑤　小久保　英一郎

課題　筆者の考えやものの見方に対する考えをまとめよう。

◎学習の流れ
(1)．筆者の考え(中心となるキーセンテンス)を捉える。
(2)．それに対する考えや初発の感想と比較しての深まりを書きまとめる。

(1)．考え【研究の意義を理解する】

新たな研究へ

⑳日頃眺めている月が、どのような天体で、どのようにして生まれたと考えられるか、理解してもらえただろうか。月は、衛星として特異といえるほど、惑星に対する質量比が大きく、鉄が極めて少ない。そのような特徴をもつ月は、地球に衝突した原始惑星の破片から形成されたと考えられる。ただし、これはあくまで現段階での理解である。巨大衝突説は、今なお「最も有力な仮説」という位置づけであり、新たな研究の成果を受け、これから改訂されるかもしれないし、あるいは否定されることもあるかもしれない。研究は今日も続いている。

㉑月は、おそらくその起源から地球と共にあり、地球の形成、進化の過程に深い関わりをもってきた。だから、月を知ることは、地球を知ることにもつながる。今、再び月が注目を集め、日本をはじめ世界各国で、さらなる月探査が計画されている。今後の研究や探査により、どのような秘密が明らかにされるか、楽しみだ。

㉒月を見るときには、思い出してみてほしい。今から約四十六億年前、巨大な天体が地球に衝突し、月が誕生したということを。月がいつもとは違って見えるかもしれない。

＝＝線部は、キーセンテンスであり、考えの中心。

端的にまとめると・・・
【　　】を知ることは、【　　】を知ること。

(2)．単元まとめ　考えをまとめる。

２つの視点で書くと GOOD
(1)**筆者の科学的なものの見方や考え方・追求する姿勢**に対してあなたはどんな考えをもったか？
(2)**説明の順序**にはどんな工夫がこらされていたか？

評価アップのコツ

条件
①一六〇字～二〇〇字で書きまとめる。
②原稿用紙の使い方に従って書く。
③文末は常体で統一。
④本文を引用する際は「」を用いる。

評価